

地域がん診療連携拠点病院(特例型)・地域医療支援病院<川崎市立井田病院からのお知らせ>

# いだやま 第88号 井田山

基本理念「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、市民が安心してかかれる病院づくりを目指します。」

## ★第2弾★ 市内産野菜の提供

地産地消の取り組みの一環で、6月のトマトに続く夏野菜第2弾として8月15日(金)に宮前区・高津区産のきゅうりを、しょうがとあわせてさっぱりした味付けで提供しました。

今回、皆様からのアンケートでは「新鮮でおいしかった。」「これからも続けてほしい。」とのご意見のほかに、「規格外のものも活用できるとなお良い」とのご意見もあり、今後の継続した市内産野菜の提供に対する課題、目標となりました。



撮影したきゅうりが川崎の「川」の字にぴったりの3本でした

手作り春巻き、きゅうりの生姜あえ、冬瓜のくずあんかけ、中華スープ



(文責：食養科 亀山)



# ほっとサロンいだ イベント案内

ほっとサロンいだはどなたでも無料で参加できるイベントを準備しています。  
イベント開催日は、患者さんやご家族、医療者との対話の場、「がんサロン」も開催されますので、合わせてのご参加をお待ちしています。

ウィッグ選びのアドバイスと頭皮ケア  
(2025年12月18日15:00~16:00)

「ほっと暮らす」ための法律準備を知る  
(2026年2月19日13:00~14:00)



各イベント先着10名  
申込方法 右記の二次元コードにて  
(1) 氏名 (2) フリガナ (3) 連絡先メールアドレス  
(4) 参加希望日を入力して送信  
または、がん相談支援センター (044-751-8280) までTEL

お申込みはこちら



(文責：地域医療部)



## LOVEかわさきで紹介されました



2025年9月6日(土) 9:00~9:15放送の川崎市広報番組「LOVEかわさき」の「仕事の裏側密着シリーズ」で、川崎市立病院の看護師の仕事の様子や川崎市で看護師として働く魅力などが放送されました。

井田病院の紹介では、自然豊かで周囲には木々がたくさんあり、温かみのある外来ブースなどが映し出され、落ち着いた療養環境であることが伝えられました。また、井田病院は市民が安心してかかれる病院として24時間救急患者を受け入れ、在宅まで「つなぐ医療」が紹介されました。

また、地域包括ケア病棟の看護師がインタビューを受け、それぞれの患者に合わせ、住み慣れた地域に帰るためのリハビリや退院調整をしている看護の実際を説明しました。病棟内には、日常生活に戻るための施設や器具も揃っており、退院後の生活を見据えた訓練ができることも紹介されました。

和気あいあいと撮影が進み、井田病院の看護師の様子や看護師という仕事の魅力、やりがいなどもお伝えすることができました。tvk公式Youtubeチャンネルで過去動画として公開されていますので、ぜひご視聴ください。

(文責：看護部 野田)



## 橘ふるさと祭りに参加しました

8月3日(日)に市民プラザで開催された「橘ふるさと祭り」に参加しました。

当日は医師による健康相談、栄養士による食事相談、検査技師による握力測定、看護師による血圧測定などを実施しました。

暑い中、200名を超える方にブースにお越しいただき、大盛況となりました。



(文責：地域医療部)



その不整脈、  
ほっといて大丈夫？

## をテーマに市民公開講座を開催します

11月20日（木）に「その不整脈、ほっといて大丈夫？」をテーマにして循環器内科の好本達司部長による市民公開講座を開催いたします。

「なんとなく気になる」を見逃さないためにも、専門の先生による講座を受けてみませんか？

講義の最後には質問も受け付けますので、普段気になっていることを聞くチャンスです。

**会場** 井田病院2階会議室

**時間** 14:00～15:00（13:30開場）

市民公開講座

その不整脈、  
ほっといて  
大丈夫？

参加無料  
予約不要

「なんとなく気になる」を見逃さないために

2025年11月20日（木）

会場 井田病院2階会議室

時間 開場 13:30～14:00  
開演 14:00～15:00

講師 循環器内科部長  
好本 達司

川崎市立 井田病院 地域医療部  
TEL:044-766-2188

今年度は様々なテーマで全8回の市民公開講座を開催いたします。  
市民公開講座は**申込不要**、**参加費無料**です。  
興味のある講座がありましたら皆さん是非ご参加ください。  
詳しくは井田病院ホームページでご確認ください。

井田病院ホーム  
ページはこちら



（文責：地域医療部）



## 院内コンサート

9月9日救急の日、井田病院で初めて川崎市消防音楽隊による院内コンサートが開催されました。フルートやクラリネット、サクソ等総勢14名の女性音楽隊がアンコールを含め全10曲を演奏してくださいました。アンコールのマツケンサンバIIでは華やかなダンスも披露していただき、会場全体が大いに盛り上がりました。

コロナが感染拡大していた時期であったため、観客席の間隔や演奏者との距離、ヘアフィルターの設置等感染予防対策を行いました。職員・ボランティアさんが一丸となって対応を行う事で、入院患者さんや外来患者さん、そのご家族等に安心して素晴らしい演奏・パフォーマンスを見ていただくことができました。



（文責：看護部 岩本）

## 令和7年度大規模地震時医療活動訓練に参加しました

2025年9月6日に開催された令和7年度大規模地震時医療活動訓練に医師1名、看護師2名、臨床検査技師1名が参加しました。この訓練は政府主催の訓練であり、内閣府、自衛隊、警察庁、消防庁、厚生労働省、国土交通省、海上保安庁、自衛隊等が参加し、DMATも被災地外全国から359隊が参加した大規模な訓練です。今年度は2025年9月5日11時に日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震が発生し、北海道、青森県、岩手県、宮城県に甚大な被害があるという想定でした。



我々はDMAT参集拠点である岩手県の長者原SAに救急車で向かい、その後岩手県立中部病院内の岩手県中部・胆江・両磐医療圏DMAT活動拠点本部にて本部活動を指示されました。本部では県立足柄上病院DMATとともに物資支援の担当となり、EMIS（広域災害医療情報システム:インターネット上に各病院が被害状況を入力し、全国の医療機関とDMATが参照できるシステム）を用いて、各病院がどの物資が不足しているのかという情報の収集を行いました。



私達がまとめた情報は本部ミーティングや県庁ミーティングで共有し、必要な物資が行き渡るよう手配することができました。また、同じ本部では川崎市立川崎病院、聖マリアンナ医科大学病院、関東労災病院等、私達が普段から連携を取っている病院と一緒に活動しました。

今回の訓練を通し、自分が発信した情報が自ら及び他者を救うことができるということを学びました。また、近隣の病院と連携した活動を経験し、日常から良好な関係性を築いておくことが実災害にも活かされるということを学びました。井田病院では今年11月29日に災害訓練を実施します。今後活かせるようつとめてまいります。

(文責：DMAT部会)

## もしもの時に備えて

### 新興・再興感染症対応訓練を行いました



令和7年8月30日にKAWASAKI地域感染制御協議会および川崎市健康安全研究所、保健所と合同で訓練を行いました。

市内南部ブロックの医療機関から約50名以上が参加し、新興感染症を想定した机上訓練に真剣に取り組みました。

訓練では、嘔吐や下痢などの症状が見られた患者さんへの初期対応から、感染拡大防止のための情報伝達、医療施設間の連携までを実践的に確認しました。

訓練を通じて、新興・再興感染症が発生した際に自施設でどのように対応するのか再確認することができました。当院では、もしもの時も安心して地域の皆様にご利用いただけるように備えています。

(文責：感染対策室)

